

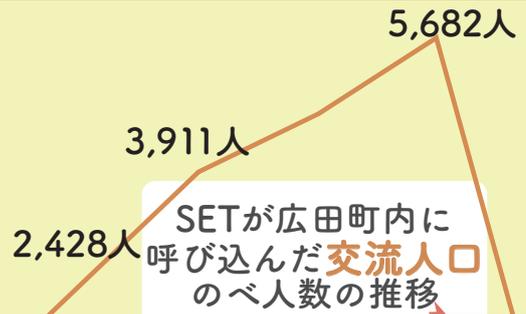


# 広田町内外の交流に関するアンケート調査報告書 「交流」にはどんな価値があったのか？



# はじめに

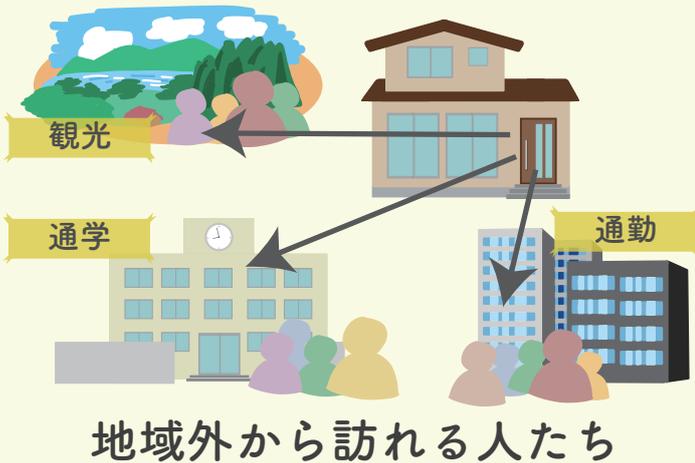
震災を機に立ち上がったSETは「交流」を主軸に活動してきました。



COVID-19流行により交流が中断

一般的に言われる交流人口とSETが呼び込んだ「交流人口」は少々意味合いが異なります。

一般的に言われる交流人口とは



SETが呼び込んだ「交流人口」とは



このような交流をするということに関して



どういう意味が？

という声を頂くこともありました。

そのため COVID-19の影響により交流を一時中断しなければならなくなった今



「交流にはどんな価値があるのか」を測る調査を行いました。

## 広田町内アンケート概要

## 若者向けアンケート概要

期間 2020年6月中旬より2週間

対象 広田町 995世帯

回収 164 (回収率16%)

期間 2020年6月21日～7月3日

対象 コロナ前のSETの交流事業に関わった若者約450名

回収 80 (回収率約18%)

広田町内アンケートでは、交流事業に参加したことがある人が106人、参加したことがない人が56人、若者向けアンケートでは、1週間の滞在プログラム参加者を「短期滞在者」、半年以上広田への往来を繰り返していた人を「スタッフ」とし短期滞在者が30人、スタッフが50人でした。

アンケートでは「幸福度」と「社会関係資本」に関する質問をしました。その後、大学教授の協力のもと分析、考察を行いました。

### なぜ幸福度なのか

お金がすべて?

先行きが見通しづらいこの時代、経済的な成長だけを目指すことに疑問が持たれるようになりました。

そんな中

ブータン王国の国民総幸福量政策 (GNH政策)

東京・荒川区の荒川区民総幸福量政策導入

「幸福」を主軸に据えた政策が世界で注目を集めています。

実は岩手県も「幸福」を掲げた政策づくりを進めています。

主観的幸福感を基に設定された「いわて県民計画 (2019～2028)」10の政策推進領域

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1. 健康・余暇  | 6. 仕事・収入 |
| 2. 家族・子育て | 7. 歴史・文化 |
| 3. 教育     | 8. 自然環境  |
| 4. 移住環境   | 9. 社会基盤  |
| 5. 安全     | 10. 参画   |

### 社会関係資本とは

“人のつながり”は目には見えないため数字で計測することが難しい…



でも

人間関係の充実が「生活の質」に影響していることはデータが出ています

犯罪率が低い

完全失業率が低い

生活の質が良いと…

合計特殊出生率が高い

地域活動への参加

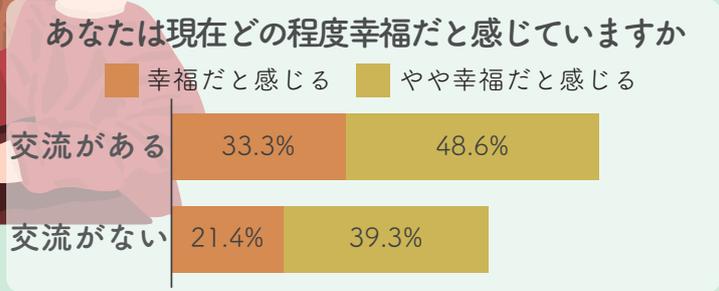
社会的信頼

人々のつながり

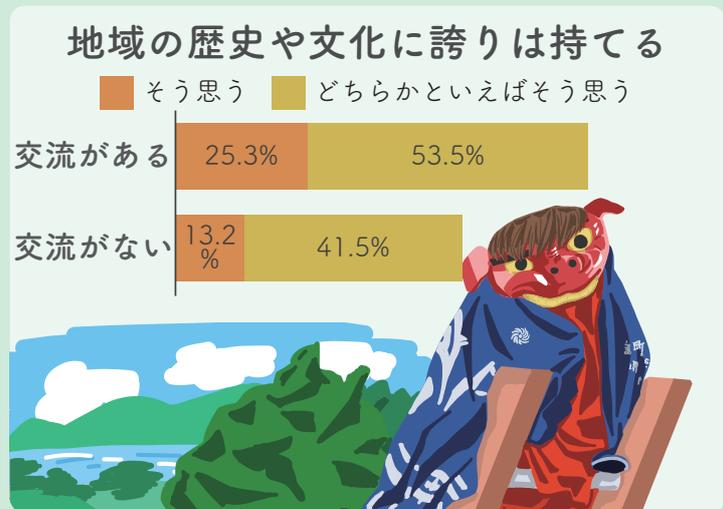
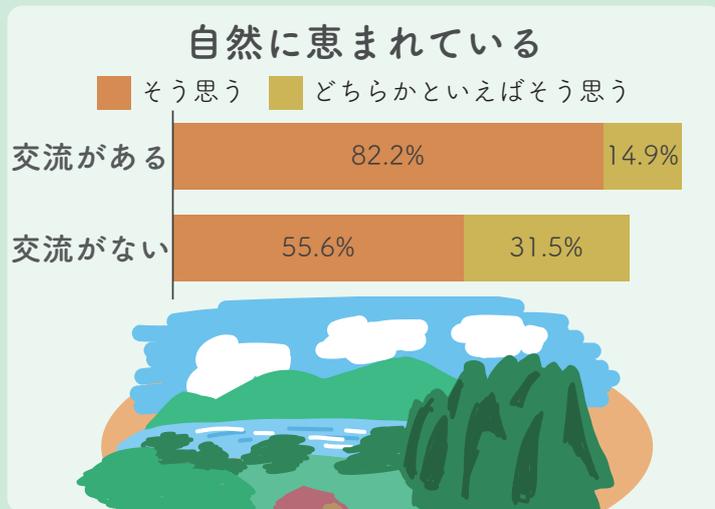
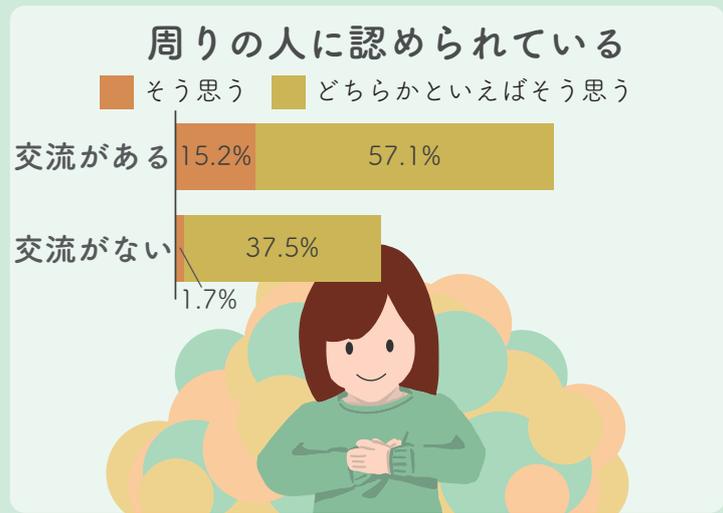
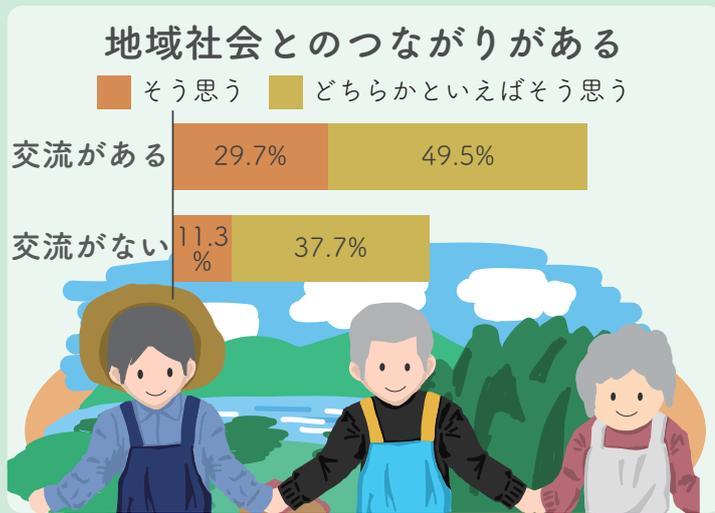
左の項目をアンケート調査し数字で測ったものが社会関係資本 (ソーシャルキャピタル) です

# 広田町内アンケート結果

## 幸福度に関する調査結果



幸福度に関する調査で大きな差があったものは以下のものです。



「海が綺麗！」「お祭りを大切にされているんですね！」という広田町に来た若者の感想を聞くことで町の自然の恵みや伝統への誇りをより感じるのだと思います。またそれは「周囲から認められている」「社会とつながっている」という感覚の醸成につながり、結果として「全体的な幸福感」が高まっているのだと考察されます。

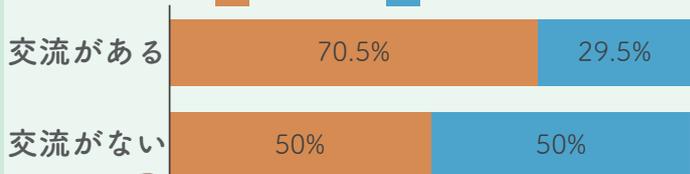
# 社会関係資本に関する調査結果



社会関係資本に関する調査で大きな差があったものは以下のものです。

あなたは現在地縁的な活動<sup>※1</sup>をされていますか

はい (茶色) いいえ (青)

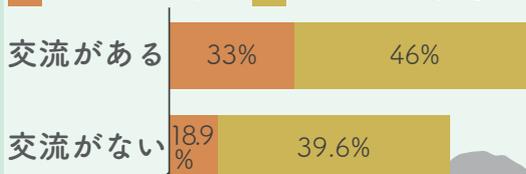


※1: 自治会、町内会、婦人会など



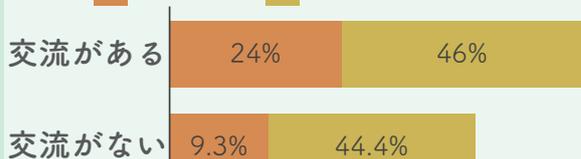
あなたは一般的に人は信頼できると思いますか

ほとんどできる (茶色) 「ほとんどできる」と「注意する」の中間 (黄緑)



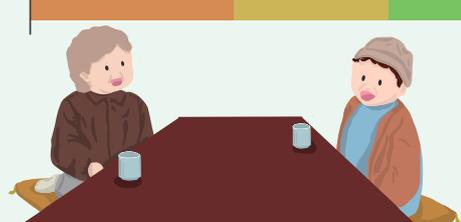
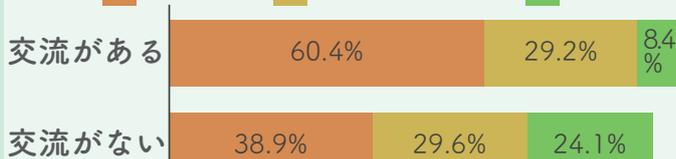
地域での活動や社会貢献活動に参加できている町民が多い

そう思う (茶色) どちらかといえばそう思う (黄緑)



あなたのご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか

日常的に (茶色) ある程度頻繁に (黄緑) 時々 (緑)



「一般的に人を信頼できる」ということは協力関係を生み出し豊かな社会生活を営む上でとても大事です。広田は全国・岩手県平均と比べても高い数値となりました。地縁的な活動やご近所付き合い、外部の知らない人との交流が多い人は「他者を信頼する力」が高く、社会関係資本の向上に貢献していると考察されます。

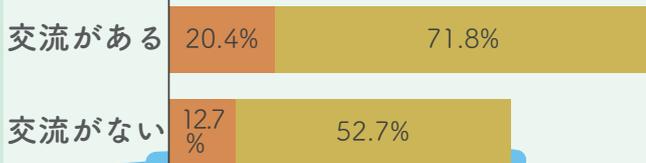
# 社会への貢献意識に関する調査結果



社会への貢献意識に関する調査で大きな差があったものは以下のものです。

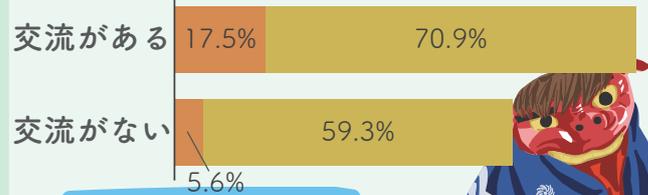
あなたの「地域の自然環境の保全について」の意識

■ 貢献している ■ 貢献したいとは思っている



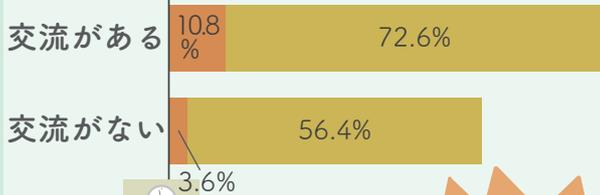
あなたの「この町の文化・伝統の継承・発展について」の意識

■ 貢献している ■ 貢献したいとは思っている



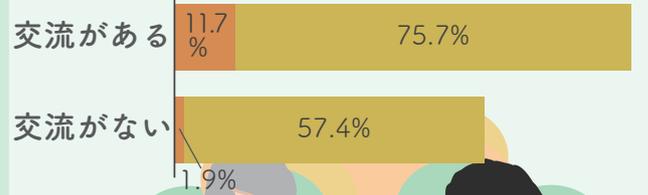
あなたの「人の成長や教育」についての意識

■ 貢献している ■ 貢献したいとは思っている



あなたの「この町での生活の次の世代への継承」の意識

■ 貢献している ■ 貢献したいとは思っている

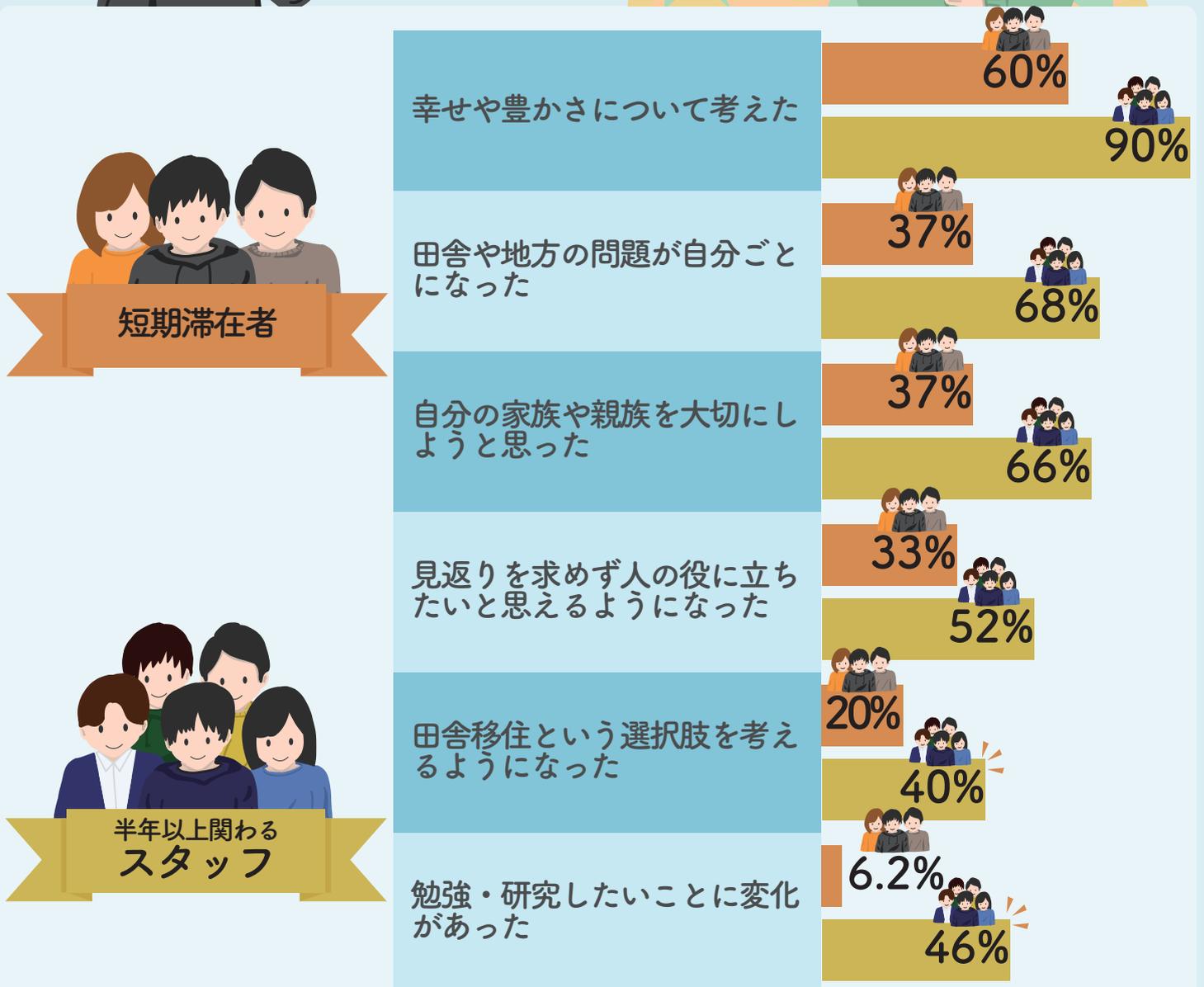


外部の若者から、「この町の文化や伝統を守っていくためには何ができますか?」「この町の漁業などの産業を次世代につないでいきたいです!」という質問や意見を聞き、話し合うことが多い事が、「社会や町への貢献意識」に影響していると考察されます。

# 3

## 若者向けアンケート結果

スタッフとして長期間広田町に関わり続けている人は  
考え方や価値観が大きく影響を受けている



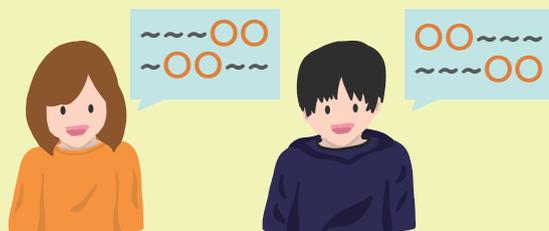
「田舎移住という選択肢を考えるようになった」  
「勉強・研究したいことに変化があった」  
と答えた人が倍以上増えた。

# スタッフとして長期間広田町に関わり続けている人は 町や人の変化を実感している



## 「計量テキスト分析」を用いました

膨大な文章の中で何度も使われている  
単語や言い回しの頻度を測る分析方法



交流を通じて広田町にはどのような変化が生まれると思いますか？



短期滞在者

いろんな世代と関わることで**町**に**活気**が出る  
**町**が**活気**付いてくれたらいいな  
ありふれた日常が**活気**づく などなど…

「活気」「町」という言葉を多用していた。



半年以上関わる  
スタッフ

人生の楽しみが**増える**  
楽しみにしてくれる町の**人**も**増える**  
前向きな**人**が**増える**  
生き生きしている町の**人**が**増える**  
笑顔や笑いが**増えた**気がする などなど…

「人」「増える」という言葉を多用していた。

交流を通して、  
町が**活気**づくこと、**人**が**変わ**っていくことを  
実感していた

スタッフとして長期間広田町に関わり続けている人は  
自分の住む地域や社会への取り組みに  
結びつく割合が高い



交流事業を経て、自分の住む地域や社会などに対する取り組みがありましたか？



広田町から帰った後、こんな取り組みをしたという声がありました。

多世代交流で野菜を作り、その野菜を使って朝市をした



畑から取れた野菜を食べるようになった

地元の商店街を利用するようになった

商店街活性化に取り組んだ

2019年の台風で地元が災害に遭い支援ボランティアをしに行った

空き家問題に関わる取り組みに参加した

地域内・社会的な貢献活動が増えた！

# 4

## まとめとこれからの展望

広田町への調査の結果わかったことは、外部の若者と交流している人は…

幸福度が高い



社会関係資本向上に貢献している



社会への貢献意識が強い



若者への調査の結果わかったことは、より長く交流に関わり続けた人は…

考え方や価値観に大きな影響を受けている



町や人の変化を実感している



自分の住む地域や社会への取り組みに結びつく割合が高い



つまり、交流をしたことにより、  
広田町にお住まいの方々、そして広田町に訪れた若者の双方が  
「町のために何かをしたい!」「社会のために何かをしたい!」  
という気持ちが大きくなり



「町のために」と行動する人が  
増えた!



社会への「具体的な行動」が  
増えた!

ということがわかりました。

一方、交流だけでは解決できていない課題もあります。中でも…



といった広田町内の経済循環には今の私たちの活動では貢献できていません。

でも私たちには

東京などにいる応援者が  
合計 500 人以上いること



移住して現在広田に住んでいる  
若者が 20 名以上いてこれから  
も増えること



といった強みがあり、  
このつながりを生かして 3つの新しい取り組み を始めます。

インターネットを通じた物品販売  
およびオンライン民泊



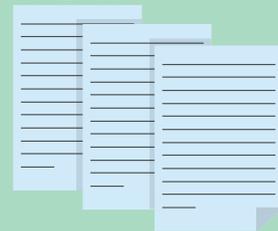
地域食材の地域内流通



地域内経済循環率向上を目指した  
地元食材を使った食事会やイベント



以上 3 点のための調査と  
調査報告書の発行



ますます皆様からのご協力をいただきながら活動を続けていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



詳細なデータ一覧については NPO法人SETのHP(<https://set-hirota.com/>) にて公表しておりますので、より詳細に知りたい方はそちらをご確認ください。



ネットのできる。  
もっといいこと。

Yahoo! 基金

©NPO法人SET 発行日：2020年10月

本調査アンケートは陸前高田市の協力のもと行われました。

本調査は「Yahoo! 基金2020年度被災地復興調査助成」を利用して行われました。

本調査は、大澤健教授（和歌山大学経済学部）、石田裕准教授（宮城大学事業構想学部・日本NPO学会会長）の協力の元、行われました。

#### NPO法人SETとは

東日本大震災をきっかけに設立された。「人が減るからこそ豊かになる人づくり、まちづくり、社会づくり」を行う。主な活動としては、陸前高田市広田町に外部の若者を呼び込み、住民との交流事業などを展開している。